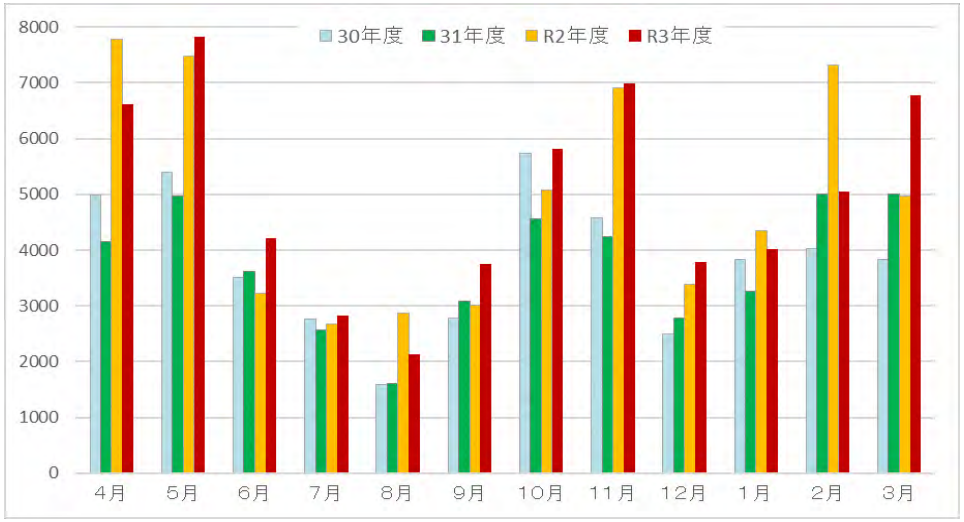
■令和３年度　新治里山公園　事業報告書

指定管理者：NPO 法人新治里山「わ」を広げる会

１．公園の利用者数（様式3に相当）

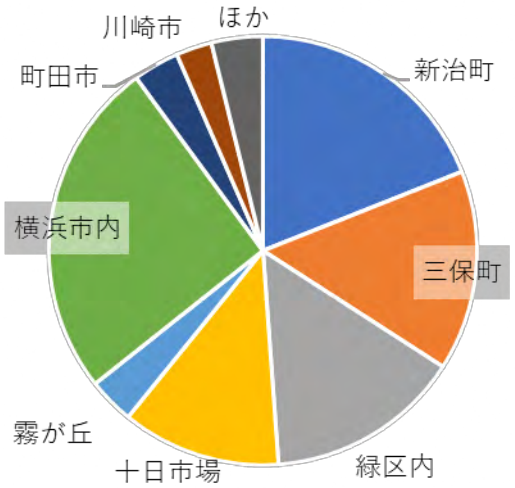
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
旭谷戸広場総数		5,261	6,343	3,515	2,392	1,774	3,086	4,948	5,772	3,017	3,249	3,467	4,705	47,529
旧奥津邸総数		1,361	1,490	706	432	356	671	866	1,224	777	768	1,576	2,064	12,291
新治里山公園総数		6,622	7,833	4,221	2,824	2,130	3,757	5,814	6,996	3,794	4,017	5,043	6,769	59,820
内　訳：														
大人		4,697	5,185	2,251	1,567	1,222	2,287	2,834	3,333	2,005	2,579	3,278	4,790	36,028
中学生以下		1,266	1,833	777	539	633	916	1,901	1,842	922	715	1,145	1,377	13,866
「わ」の会イベント・部会・会議		107	130	470	103	52	88	113	1,022	349	398	196	226	3,254
地域関連団体活動		266	321	384	389		243	542	331	210	103	144	122	3,055
園内ボランティア活動		216	296	249	160	138	143	319	318	216	140	190	184	2,569
その他（来客等）		70	68	90	66	66	80	105	150	92	82	90	70	1,029
合　計：		6,622	7,833	4,221	2,824	2,130	3,757	5,814	6,996	3,794	4,017	5,043	6,769	59,820
他団体利用	件数	9	5	1	1	0	0	8	11	3	1	3	5	47
	人数	584	341	30	36	0	0	732	769	341	33	328	502	3,696

【4年間の月別来訪者数（人）】



令和 2 年度は多くのイベントが中止となったが一般来訪者が激増。今年度はコロナウィルス感染症拡大防止策を行いながら、徐々にイベントを再開した。年間来訪者数は 800 人増。

来訪者の居住地域（右図参照）については、来訪者およびイベントアンケート（258 件）によって調べている。近隣 4 町だけで全体の 50%、それ以外の緑区を含む「市内」は全体の 90%となった。



2. 業務の第三者委託実績　(様式4)

業務	内容	委託会社	年回数	実施月日	対応状況	支払金額（円）
夜間及び 火災警備	建物警備(AED 含)	セコム(株)　都筑支社	通年	毎日	小動物による夜間作動対応、機器不具合対応等	1,068,384
植物管理	庭木の管理指導及び 特殊樹木･高木剪定	山十四造園　＜緑区＞	15 回	5/18～22 11/9～26	マツ、キャラ、モチ、イヌマキ、北山杉などの特殊樹木剪定について対応。	483,230
設備点検	消防設備の法定点検	中山防災設備(株)　＜緑区＞	2回	9/2、 3/3	消防設備点検	155,980
施設管理	屋根等高所点検	関佳工務店　＜緑区＞	4回	6/23 、9/30 、12/25、 3/12	屋根、雨どい等を点検	55,000
植物管理	除草･剪定等	山惣　＜南区＞	通年	月7～9 日、別途斜面草刈 2 日間	毎月、作業計画会議にも参画。9･10 月に斜面草刈り対応。	2,469,900
保守点検	空調保守点検	三菱電機ビルテクノサービス(株)	1回	10/16	主屋空調設備の点検	162,800

３．年度修繕実績　(様式5)

番号	年月日	点検の種別			点検の対象	点検後の処理		処理結果	報告状況 ほか	金額 （円）
		法定	定期	随時		交換等	業者依頼			
1	R3. 4. 14			○	主屋雨戸			職員による雨戸補修	4月度月報	
2	R3. 4. 19.20.21			○	植栽		山十四造園	造園業者によるマツのみどり摘み、北山杉剪定	4月度月報	93,500
3	R3. 4. 24			○	配電盤		東京電力	外灯用配電盤の点検	4月度月報	
4	R3. 4. 30			○	排水設備			職員による旧奥邸エリアのU字溝泥上げ	4月度月報	
5	R3. 5. 07			○	排水設備			職員による旧奥邸エリアのU字溝泥上げ	5月度月報	
6	R3. 5. 08			○	掲示板	更新		職員による掲示板の整備	5月度月報	

番号	年月日	点検の種別			点検の対象	点検後の処理		処理結果	報告状況ほか	金額（円）
		法定	定期	随時		交換等	業者依頼			
7	R3. 5. 10			○	旭谷戸広場	除伐		職員による隣接地危険木（ミズキ）の除伐	5月度月報	
8	R3. 5. 14			○	空調設備	修理	三菱ビルテクノ	室外機の漏電による管理棟コントローラの異常	5月度月報	
9	R3. 5. 31			○	案内板	更新		職員による「つどいの家」看板更新	5月度月報	
10	R3. 6. 04			○	照明器具			職員による蛍光灯の点検・清掃	6月度月報	
11	R3. 6. 07		○		施設全域			職員による施設定期点検	6月度月報	
12	R3. 6. 17			○	LPガスボンベ	流量計交換	かもめ商会	LPガスボンベの流量計に異常を確認、ガス供給会社に連絡、流量計を交換	6月度月報	
13	R3. 6. 22			○	通信インフラ	調査	妙光電機	PHS電話機のサービス停止に伴い、現状のインフラ確認	6月度月報	
14	R3. 6. 21			○	トイレ鍵	修理	関工務店	トイレの鍵の不具合につき、近隣の工務店に修理要請、鍵を分解・整備した	6月度月報	6,600
15	R3. 6. 27	○			消防設備		緑消防署	つどいの家、管理棟を対象に、1回/3年の定期点検。指摘事項はなかった。	6月度月報	
16	R3.7.01			○	刈払機	交換等	GME	電源SWの不良に付き交換	7月度月報	5,137
17	R3.7.07			○	PHS電話機	交換等	妙光電機	PHS電話機のサービス停止に伴い、公園設備として北部公園が電話機を交換	7月度月報	
18	R3.7.12			○	消防設備	交換等	中山防災	消防設備のコントローラ部に組み込まれている充電池の寿命による交換	7月度月報	22,000
19	R3.7.30			○	刈払機	交換等	GME	刈払機のエアークリーナカバー等の破損につき交換	7月度月報	5,445
20	R3.8.24			○	体験棟出窓	施工		職員による、つどいの家工房出窓の角に緩衝材取付	8月度月報	
21	R3.8.24			○	旭谷戸広場水飲み場	施工		職員による、つどいの家の外水飲み場に緩衝材取付	8月度月報	
22	R3.8.30			○	管理棟	施工	ダスキン	管理棟エントランスおよび居室の床磨き	8月度月報	60,500
23	R3.9.01	○			消防設備		中山防災	消防設備の法定点検	9月度月報	69,190
24	R3.9.06		○		建物高所		関工務店	建物屋根、雨どい等の点検	9月度月報	
25	R3.9.06		○		施設全域			第2回施設定期点検	9月度月報	
26	R3.9.06			○	釜屋	補修		職員による釜屋前玉石の浮き接着剤にて補修	9月度月報	
27	R3.9.08			○	主屋前庭	駆除	(株)ビートシステム	前庭のケヤキにスズメバチが群舞、安全確保の為専門業者に駆除を依頼	9月度月報	38,500

番号	年月日	点検の種別			点検の対象	点検後の処理		処理結果	報告状況ほか	金額（円）
		法定	定期	随時		交換等	業者依頼			
28	R3.9.22			○	釜屋	補修		職員による釜屋前外流しの玉石の浮き接着剤にて補修	9月度月報	
29	R3.9.27			○	植栽	施工	山惣	外注による、主屋北斜面の草刈	9月度月報	100,000
30	R3.10.04			○	体験棟板の間			折り戸のノブ修理	10月度月報	
31	R3.10.13			○	主屋台所			混合栓の点検・調整	10月度月報	
32	R3.10.15			○	機械警備設備	交換等	セコム	機械警備用通信ユニットの交換（4G対応）	10月度月報	
33	R3.10.20			○	植栽	剪定	山十四造園	造園業者による特殊樹木の剪定（8日間）	10月度月報	245,300
34	R3.10.22		○		空調設備		三菱ビルテクノ	旧奥津邸エリア及び旭谷戸エリアの空調設備の定期点検	10月度月報	162,800
35	R3.10.27			○	植栽	草刈	山惣	ハーブ畑法面の草刈	10月度月報	100,000
36	R3.11.01			○	庭灯	交換等		職員による庭灯の蛍光管交換（長屋門前）	11月度月報	
37	R3.11.15			○	庭灯	交換等		職員による庭灯の蛍光管交換（ケヤキ前）	11月度月報	
38	R3.12.20			○	管理棟看板	更新		職員による管理棟看板の更新	12月度月報	
39	R3.12.20			○	門扉前ベンチ	塗装		ボランティアによる旭谷戸門扉前ベンチの塗装	12月度月報	
40	R3.12.20			○	奥津橋		高島テクノロジーセンター	横浜市からの橋脚の定期点検委託	12月度月報	
41	R4.1.05			○	庭灯	交換等		職員による庭灯の交換	3月度月報	
42	R4.1.17			○	エアコン			職員によるフィルタ清掃（4箇所）	3月度月報	
43	R4.2.7			○	植栽	剪定	山十四造園	専門業者による剪定（2/7，8，9，11）	3月度月報	138,600
44	R4.2.23			○	下水管		横浜市指定業者	旭谷戸エリアの下水管高圧洗浄	3月度月報	
45	R4.2.18			○	ラベンダー畑			職員によるラベンダー畑土留め工事を実施	3月度月報	
46	R4.3.01	○			消防設備		中山防災	専門業者による消防設備法定点検	3月度月報	86,790
47	R4.3.21		○		施設全般			1級建築士による施設定期点検	3月度月報	55,000
48	R4.3.25		○		建物高所		関工務店	屋根、雨どい等建物高所点検	3月度月報	55,000
49	R4.3.29			○	プロパンガス		かもめ商会	ガスメーターの交換	3月度月報	

４．年度増減備品一覧　（様式6）　今年度は該当なし

５．事故物損対応報告　（様式7）

No.	年月日	事故・物損等の内容	対応結果
1	R3.7.03	主屋前庭の柿の木に沢山のキノコ繁殖	地元の樹木医に相談、現認。キクラゲ類のキノコと判明、表皮までの分布なので剥離すれば良いとの見解を得る。冬場に樹皮剥がしを実施。
2	R3.7.12	納屋前石積みの剥離	職員がコンクリート用接着剤にて固定、打音確認。経過観察。
3	R3.7.17	電子掲示板システムが稼働しない	windows7仕様のパソコンが立ち上がらず。本システムが管理棟の付帯設備であるため、後日北部公園事務所と確認。そのままにしておく。
4	R3.9.08	主屋前庭のケヤキにスズメバチが群舞	即日、専門業者（株式会社ビートシステム）に駆除を依頼、処置した。さらに来訪者の安全確保の為カラーコーンで侵入を抑制し注意を喚起した。
5	R4.2.17	旧奥津邸西側墓道の階段に血痕	現状の状況を北部公園緑地事務所に報告、所長より警察への通報と調査依頼の要請をするように指示され、警察への通報と捜査への協力をした。その後連絡ないので終了。

６．苦情対応報告　（様式7）　要望・苦情件数　298 件（うち駐車場関連 274 件含む。苦情と判断したものを掲載）

No.	年月日	要望苦情等の内容	提出された形式	処理・回答内容と対応
1	R3.4.4	「旬の里山探訪」5月の予定がHPに載っていない。	口頭	お詫びし、急ぎアップした。
2	R3.5月 10月	十日市場駅からの道がわかりにくい。迷った。 3件	口頭	十日市場の再開発にともない、現在案内板が1枚撤去されている状況のため、緑区役所と調整中。
3	R3.9.24	広場でボール遊びをしていると、ボールがフェンスを越えてしまうことがあるので、フェンスをもっと高くしてほしい。	口頭	ボールがフェンスを越えないように遊んでね、と伝えた。
4	R4.2.5	広場で高学年の小学生が大勢でボールをけっている。注意してほしい。	口頭	他の来訪者がいる時は配慮してほしい、と子どもたちに伝えた。
5	R4.2.13	新治市民の森でトレイルランニングをしている人のマナーが悪く危険。禁止を検討してもらいたい。	メール	ローカルルール・イエローカード等について紹介し、当方も課題として認識していることをメールで返信。関係部署に伝達。

７．市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進 （様式8）

１）自主事業を含めた提案事業の方向性と狙いのまとめ

「人と人の和」「地域の輪」「自然の環」を育むことを理念とし、多くの市民とともに「里山がそばにある暮らし」を楽しむ、伝える事業を長年にわたりすすめてきたが、コロナウィルス感染症拡大防止のため、年度当初よりイベント含む部会活動も休止となった。解除後の６ 月から、コロナ禍での活動のあり方などを再検討した。

その結果室内イベントや飲食を伴うイベントの多くは引き続き中止となったが、感染症防止対策に十分配慮しながら野外イベントとお琴の演奏、おはなし会等は再開した。新治里山秋まつりやどんど焼きについては、他団体の協力も得て、開催することができた。　様式 11 参照。

新治里山 秋まつりの１コマ

２）市民サービス向上取組の考え方

いつもきれいであることを基本とし、「安全・安心」であることを「おもてなしの気持ち」として日常管理を行った。近所の保育園や幼稚園、小学校では、今年度も「遠足」として公園を長時間滞在する活用が行われた。

その際に、子どもたちへの学びや遊びになるプログラム（自然発見ビンゴやワークシート等）を提供した。

近隣の子どもたちは放課後に遊びに来ることが定着しており、職員は見守りも含め、「地域の縁側」の役割を心がけた。

３）利用促進の取組、利用者支援等の取組について

昨年より一般来訪者が増え、来訪者数はコロナ禍前より 34％増。感染症防止対策の取り組みとともに、公園での利用ルールなどをイーゼル等で掲示している。「市民の森＆公園ルールとマナー」リーフレットを引き続き配布し、新治里山ごよみでも、市民の森の利用ルールを掲載した。 広場では子どもたちがクローバー摘みができるように草刈りの高さを変えるなどの工夫をした。

４）広報やパブリシティー取組の考え方

「新治里山ごよみ」は緑区役所での町内会回覧ができなくなったことを受け、小中学校等での配布とともに、新治町・十日市場町は自治会に直接持ち込み、5500 部 4 回を発行することができた。HPの「つれづれ日誌」ではお知らせやイベント報告などを発信、facebook では日常のちょっととした光景を発信。また、懸案だった英語版パンフレットを地元高校生やビジネスマンに協力してもらい製作することができた。

５）利用者ニーズ把握取組の考え方

来訪者アンケートについては、室内滞在が短いことから以前のようには集まらないため、web アンケートを導入した。昨年度より回収数を増やすことができた。

また、長話ははばかられるが、マスク着用の上、来訪者との会話をすることでニーズや感想をいただくよう心掛けている。

どんど焼き

６）公園管理上、課題ととらえている事項とその改善策案

《駐車場はないんですか？》

年間 200 件を超える問い合わせ・要望が寄せられている。わずかな駐車スペースはあるものの過去の地元要望（安全対策等）により開放されていない。迷惑駐車も予想され、今後の駐車場のあり方について横浜市と意見交換は行った。引き続き協議が必要と考えている。

《いぐさ畳を傷つけない感染症拡大防止対策は？》

都筑民家園、横溝屋敷、長屋門公園、本郷ふじやま公園など和室がある公園がいくつかあるが、利用制限の違いがあり、それぞれが対策を悩んでいた。厚生労働省の消毒方法では労力がかかるだけではなく畳が傷んでしまう。畳を傷つけず効率的に消毒作業ができる方法を未だ模索している。和室の維持管理水準を横浜市で検討していただきたい、と考えている。

子どもたちによる「ぬか磨き」

TVK あっぱれ KANAGAWA 大行進！ロケ

《つどいの家はレストハウス？　あずまや？》

つどいの家の土間は、現在「レストハウス」と同等の対応をしており、おやつ・食事ができない。

真夏や雨天時は広場で食事ができず、つどいの家内でおやつや弁当が食べられるようにしたいと考えている。　マスク飲食を呼びかけるなどしていきたい。

英語版パンフレット

web アンケートの呼びかけ

クローバーの花摘みと草あそび

８．収支報告書　（様式９）

（円）

収入の部	当初予算額 (A)　円	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C−D)	説明
指定管理料	26,634,095		26,634,095	26,634,095	0	
利用料金収入			0			
自主事業収入	580,000	−100,000	480,000	531,675	−51,675	
雑入			0			
その他雑入			0			
収入合計	27,214,095	−100,000	27,114,095	27,165,770	−51,675	

支出の部	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C−D)	説明
人件費	17,033,000	0	17,033,000	16,969,436	63,564	
給与・賃金	*15,500,000*		*15,500,000*	15,526,764	−26,764	職員14人分
社会保険料	*800,000*		*800,000*	853,778	−53,778	労災・雇用保険含む
通勤手当	*700,000*		*700,000*	570,250	129,750	10人分
健康診断費	*33,000*		*33,000*	18,644	14,356	2人分→1人分
勤労者福祉共済掛金	*0*		*0*		0	
退職給付引当金繰入額	*0*		*0*		0	
事務費	1,645,000	−100,000	1,545,000	1,627,638	−82,638	
旅費	*20,000*		*20,000*	0	20,000	出張旅費
消耗品費	*400,000*	−100,000	*300,000*	297,245	2,755	コピー紙ほか事務用品
会議賄い費	*0*		*0*		0	
印刷製本費	*20,000*		*20,000*	17,000	3,000	リソグラフほか
使用料及び賃借料			*0*		0	
（横浜市への支払い分）	*88,000*		*88,000*	88,008	−8	駐車場2台分
（その他）			*0*		0	
備品購入費	*0*		*0*	121,000	−121,000	ﾉｰﾄﾊﾟｿｺﾝ
図書購入費	*0*		*0*		0	
施設責任賠償保険	*450,000*		*450,000*	454,850	−4,850	火災保険等
職員等研修費	*0*		*0*		0	
振込手数料	*60,000*		*60,000*	51,565	8,435	給与振込（按分）
リース料	*17,000*		*17,000*	17,424	−424	コピー複合機
手数料	*570,000*		*570,000*	570,546	−546	会計事務所(按分)
地域協力費	*20,000*		*20,000*	10,000	10,000	町内会費
自主事業費	580,000	−150,000	430,000	303,623	126,377	ｲﾍﾞﾝﾄ資材・ボランティア保険等
管理費総合計	8,063,000	150,000	8,213,000	8,462,690	−249,690	
・光熱水費合計	1,895,000	−50,000	1,845,000	1,805,853	39,147	
光熱水費（電気）	*1,500,000*	−50,000	*1,450,000*	1,419,305	30,695	
光熱水費（ガス）	*60,000*		*60,000*	67,760	−7,760	
光熱水費（水道）	*300,000*		*300,000*	281,788	18,212	
光熱水費（下水道）	*35,000*		*35,000*	37,000	−2,000	
・清掃費	70,000		70,000	60,500	9,500	管理事務所床清掃
・修繕費	300,000		300,000	220,000	80,000	小破修繕
・機械警備費	1,050,000		1,050,000	1,068,384	−18,384	機械警備委託
・施設保全費	3,513,000	0	3,513,000	3,730,691	−217,691	
空調衛生設備保守	*160,000*		*160,000*	162,800	−2,800	空調設備保守委託
消防設備保守	*153,000*		*153,000*	155,980	−2,980	消防設備保守委託
電気設備保守	*0*		*0*		0	
害虫駆除清掃保守	*0*		*0*	38,500	−38,500	スズメバチ駆除
その他保全費・園地管理費	*3,200,000*		*3,200,000*	3,373,411	−173,411	ﾄﾚﾍﾟ等消耗品、消毒剤、ｺﾞﾐ回収、植物管理・点検外注費等
・共益費（合築等の場合）						
・公租公課	995,000	110,000	1,105,000	1,240,213	−135,213	他収入と按分
公租公課（事業所税）	*0*		*0*		0	赤字予算なので0
公租公課（消費税）	*980,000*	50,000	*1,030,000*	1,169,358	−139,358	
公租公課（印紙税）	*15,000*		*15,000*	12,000	3,000	
その他公租公課	*0*	60,000	*60,000*	58,855	1,145	法人税等
・事務経費	180,000	0	180,000	183,343	−3,343	
事務経費（本部分）	*0*		*0*		0	
事務経費（当該施設分）	*180,000*		*180,000*	183,343	−3,343	通信運搬費（電話・ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ回線・切手等）按分
・その他経費（当該公園分）	60,000	90,000	150,000	153,706	−3,706	福利厚生費（予防接種・制服・お茶代等）
支出合計	27,321,000		27,221,000	27,363,387		
差引	−106,905		−106,905	−197,617	−51,675	NPO会費、繰越金等で負担

（参考）指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	100,000		100,000	82,000	18,000	自販機1台
設置管理許可支出合計	34,128			34,128	−34,128	5年間一括払い44,640円を換算すると8,928円、電気代25,200円
差引	65,872			47,872	−47,872	

９．運営目標・実績報告（様式 10）

目標設定の視点	当初設定した運営目標	当初設定した目指す管理指数・数値	実　績	目標との差異	今後の取組（改善計画）
業務運営1（達成目標、運営業務の実施方針）	事業計画書様式2－2参照	事業計画書様式2－2参照	コロナウィルス感染症拡大防止対策の徹底を継続しつつ、施設管理に注力、イベント等での施設活用を少しずつ再開した。	規模は小さいが概ね達成している。	コロナ禍の社会的状況を踏まえて、公園の役割を再確認しながらより適した活用策を検討する。
業務運営2（利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすさ向上）	①新治里山公園運営プロジェクトの推進	・会員数の維持 ・室内イベントの再開	・会員数 54 名 （昨年度 61 名） ・お琴、おはなし会が再開。 ・里山秋まつりを実施。	・室内イベントを再開できた。秋まつりも他団体協力により実施。 ・会員数は 7 名減。	・各部会内の活動を感染症拡大防止対策につとめながら継続できることを支援する。
	②わつなぎシステム稼働	・ｵｰﾌﾟﾝｻﾛﾝ開催 ・新たな連携ｲﾍﾞﾝﾄ 1 回	・公開型のｵｰﾌﾟﾝｻﾛﾝは断念したが関係者とのﾈｯﾄﾜｰｸは継続。 ・新たにみどりアートパークとの土絵ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ実施。	・わつなぎパーク関連事業としては、8 団体が 44 回（参加者 1548 人）開催。	複数の関係者で一堂に会うことはできなかったが、個別に情報交換はできた。今後は実際に意見交換する機会を設けたい。
	③一般来訪者ｱﾝｹｰﾄに注力	毎月 10 人	一般来訪者：210 件 ｲﾍﾞﾝﾄ参加者：48 件	一般来訪者は昨年より増加。ｱﾝｹｰﾄのとれるイベントが少ないため。	web アンケートの仕組みをイベントにも取り入れるなどの工夫をする。
	④園内サイン計画策定	野外の利用案内板設置。	イーゼルで利用マナーを掲示。未公開エリアを資源循環エリアに変更し解説を加えた。	常設の耐久性のあるサイン製作には至っていない。	簡易な看板の更新に課題がある。貼り付け方などを検討していきたい。
業務運営3（人員配置、緊急時対応計画、防犯防災、災害対応）	①適材適所且つ補完し合える人員配置	1 日の最低人数 4 人、園地管理等週 2 日実施。	人数は計画通り配置した。	なし	来訪者増、消毒等の業務や事務作業が増え、計画人数では不足している。
	②緊急時・災害対応が速やかにできるよう訓練を実施	年 2 回訓練 地元消防団との定期的な消防訓練の定着化	緊急時（トイレ緊急呼び出し等）対応訓練、救急救命・初期消火訓練を実施した。	2回/年の訓練を計画通り実施した。	次年度も社会情勢を鑑みつつ 2 回/年を計画する。

	当初設定した運営目標	当初設定した目指す管理指数・数値	実　績	目標との差異	今後の取組（改善計画）
	③地域の学校・消防署・警察等との連携	速やかに情報交換が行われること。	事件・事故事案や、不審者情報等のコミュニケーションがよく取れている。	地元の消防団の協力による消火放水訓練が出来なかった。	次年度も消防署と協議し普通救急救命、消防訓練を実施する。
人材育成 **（研修実施効果等）**	常に公園のビジョン・ミッションを意識し、管理運営方針に基いた行動をできるようにする。	・月1回以上の研修または訓練を実施。 ・事故や応対のクレームがないこと。	毎月 1 回の全員研修・訓練を実施。他の公園を各自で見学に行き全員で共有した。研修の内容については様式 13 参照。	ボランティアスタッフのプログラム運営研修も再開できたので研修回数は予定を上回った。	「慣れ」が原因で起こり得るリスクに気づき、行動指針をふりかえる。
維持管理1 **（施設の保守管理、補修計画）**	①維持管理計画に基づき、日常管理、施設点検を行い、管理作業計画に盛り込む。	・作業計画会議の毎月開催 ・利活用から見た管理ガイドラインの確認と研修。	毎月作業計画会議を実施し、作業内容の共有化を図り、優先順位を設け実施。	目標通り実施。	新年度より組織体制が変更になるが円滑に施設の保守・維持管理がすすめられるよう努める。
	②旧奥津邸建物群に養生日を設定し、効率的な作業を行う。	施設管理作業の効率化と経費削減。 職員、専門業者、役所で対応することを精査する。	養生日を設定することにより旧奥津邸エリアでの作業効率を上げることができた。	目標通り実施。	引き続き養生日を有効に活用し、来訪者の安全確保と旧奥津邸の維持管理に努める。
	③中長期管理計画の見直しと確認を行う。	中長期管理計画策定	横浜市が保有する長期保全計画書を入手し、当会が保有する保全計画書と照合確認。	中長期管理計画の策定には至らず。	毎年提出している指定管理者施設点検結果表を基に当会修繕委員会で情報の共有化を図る。
維持管理2 **（清掃、園地維持管理、災害対応）**	①隣接地や来訪者へ迷惑にならない心配りを徹底。	・大雪、台風等の前後に巡回、危険がないよう対応。通行者が安心して階段を上ることができる。	今年度は降雪もなく、強風による被害もなく維持管理を計画通りすすめられた。	園内に落下の恐れがある枯れ枝の処理について、土地所有者と協議、撤去して頂いた。	次年度も隣接地や来訪者に迷惑をかけない心配りに徹する。
	②旧奥津邸らしいたたずまいの維持と演出。	「いつもきれい、ほっとする」と言われる。	開館業務者を中心に旧奥津邸エリアの清掃、除草を実施、来訪者から好感を得る。	屋内の利用制限を行っているため、残念がられる時もあるが、概ね理解は得られている。	利活用から見たガイドラインの充実を図るため、より具体的な草本層の管理マニュアルを検討する。

	当初設定した運営目標	当初設定した目指す管理指数・数値	実　績	目標との差異	今後の取組（改善計画）
	③周辺地域への生物多様性保全の配慮。	ゲンジボタルやカワセミが園内で見られる。	ゲンジボタルは発生、遊水池には日常的にカワセミやコサギ、カルカモが飛来。	広場等では草丈をコントロールし、利用しつつ種の散布を抑えるなどの工夫をした。	境界となる斜面地については外部委託にて確実に実施できるよう、引き続きすすめる。
収支 （修繕等、収入、支出）	指定管理分、自主事業分、ほか事業との混同がないよう適正な会計管理を行う。	収支実績簿により四半期ごとに確認できる。	四半期ごとに収支を照らし合わせ、適切に管理できた。	目標通り実施。	引き続き適正な会計処理につとめる。
経費節減策	給与手当の見直し。 適材適所による人員配置の合理化。 備品管理の徹底。	赤字額が 10 万円以内。	職務手当等を時給換算にするなど大幅な変更を実施。備品管理の徹底など、従来の経費削減策を実施。	ノート PC を1台急きょ導入したため、赤字額の10万以内は達成できなかった。	対応が不足しているところに適切に投入できるよう検討する。

１０．自主事業実施報告（様式 11）

【無料】

事業名	計　画　内　容	計画時期	回数	回数・日にち	参加者数	ﾎﾞﾗ数	備考
地域交流事業	新治里山秋まつり（600人）	11月	各1	11/7	957	121	他団体も参加
	どんど焼き（300人）	1月		1/14	288	4	
オープンガーデン	ハーブ畑・栗林の開放（1回平均5人程度）	毎週火曜	50	49	244	298	
施設活用・里山文化	むかしなつかしあそび（50人）	秋	1	中止			
	里庭のお手入れ（各5人）	季節ごと	4	3	10	3	
	お琴の演奏会、おはなし会（各平均10人） ※室内開放状況による	各毎月1回	20	22	26	101	おはなし会3回　26人　ﾎﾞﾗ8人 お琴　19回　　ﾎﾞﾗ93人
施設管理ボランティア	園内美化・除草（延べ8人/月）、	毎月2回	25	51		84	
	すす払い（20人）	12月		12/18	19	2	シュタイナー学園
季節展示・企画展示	正月飾り、ひなまつり、七夕、竹細工展示	季節随時	7	4/8～5/18 7/3～7/8 8/11～8/17 9/21～9/28 12/15～1/18 1/21～3/8 2/3～3/15 3/9～3/31	8回		こいのぼりと五月飾り 七夕飾り 盆飾り 十五夜飾り 正月飾り わら細工を通して時代を見る展 お雛様とつるしびな 本草図譜
里山ごよみ発行	広報紙5000部発行	四半期発行	4	4			5,500部。新治町、十日市場町は持込み。
わつなぎｵｰﾌﾟﾝｻﾛﾝ	公園運営を考える周辺組織との情報交換会	不定期		1			十日市場施設連携

【有料】

事業名	内　容（募集人数・一人当たりの参加費）	計画時期	回数	回数・日にち	参加者数	ﾎﾞﾗ数	備考
ハーブに関する事業（ラベンダー）	ラベンダーの花穂を使ったスティック作りの講習会（延べ50人、@500円）	6-7月	18	16	58	16	スティックづくりはせず摘み取りのみ
ハーブに関する事業（その他）	ハーブを使ったクラフトの講座（延べ40人・@1000円）	通年	5	中止			室内で行うクラフト系のイベントは感染症拡大防止措置の一環で中止
里山文化に関する事業（単発）	干し柿づくり、竹細工、正月飾りなど　（延べ40人、@800～1200円）	通年	8	中止			
里山文化に関する事業（連続）	竹とんぼづくり（100～300円）、竹かごづくり講座（3000円/年）、田んぼ体験など延べ80人	通年	24	24	187	150	竹とんぼ 10回、竹かご 12回、田んぼ体験 2回
自然観察に関する事業	旬の里山探訪：　1回15人・@200円	通年	8	8	101	67	
地域作業所、ボランティアの物品頒布	作業所のｸｯｷｰ、市民の森竹炭、竹細工、布小物、ﾎﾟﾌﾟﾘ等の物品頒布（カウンター及び秋まつり）	通年		随時			
にいはる長屋門朝市	地元農業活性化への協力（新治恵みの里事業）	通年	32	41	1498	32	
	新治恵の里発展会による農業体験（各30人程度）	通年	20	18	981		ﾄｳﾓﾛｺｼ、ｻﾂﾏｲﾓ、冬野菜づくりなど
わつなぎパーク事業	・ﾎﾞｰｲｽｶｳﾄ横浜125団による自然体験（20人）	秋	1	12/5	17		栗林の落ち葉かき
	・梅田川を楽しむ会との生きもの調べ（15人）	5月	1	5/22	25		
※他団体との協力事業については当会所属のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱがいない場合はカウントしていません	・青少年みどり遊楽舎による自然素材の子ども向け工作（各15人）	6,9,12,3月	4	4	50		押し花しおり、しの竹笛、クリスマスオブジェ、ぶんぶんごま
	・十日市場地域ｹｱﾌﾟﾗｻﾞ、里山会との元気づくりステーション（高齢者健康づくり）の運営（25人）	通年	20	16	416		
	・753プロジェクトとのしょうゆ絞り見学会（30人）	2月	2	－			
	・NPO森ノオトとの100人のひとしずく～味噌づくり	3月	1	－			有志のみで四季の家で実施
	・みどりｱｰﾄﾊﾟｰｸとのｱｰﾄﾀﾞｲｱﾘｰﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ（20人）	9月	1	8/11	19	1	土で絵を描くワークショップ
	・ドレッセ十日市場ｸﾞﾘｰﾝﾊﾞﾄﾝ倶楽部協力	春秋	2	2	40	2	
	・ほか提案を受け公園の設置目的に合致した事業	随時		1			とおかいちばまちづくりスクール

【イベント参加者アンケート】 48 件（有効：45 件）

7 プログラムでアンケートを行った。それぞれのイベンで定員が少なく、常連が多くなったこともあり、アンケートがとりにくい、という課題もある。

野外活動のイベントのみだが、「楽しかった」「自然とふれあう機会となりよかった」との感想をいただいた。

コロナ禍が落ち着いたら、いろんなイベント再開に期待している、との声もいただいた。

楽しかった？

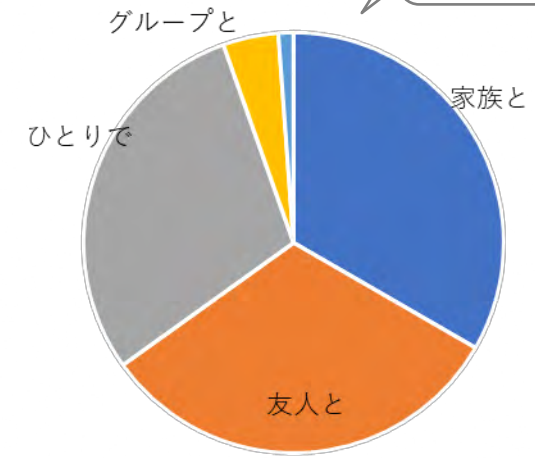
時間配分は

１１．利用者アンケート結果

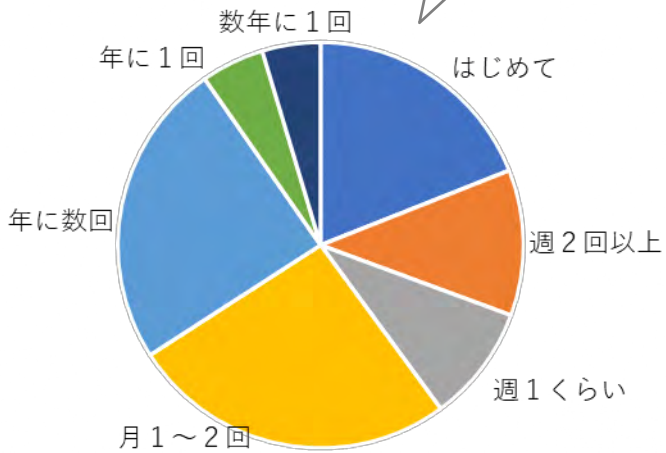
一般来訪者　：　210 件（有効：190 件）
イベント参加者：48 件（有効：45 件）

※有効はすべての項目に記載があったものですが、
各項目別の集計ではその限りとしていません。

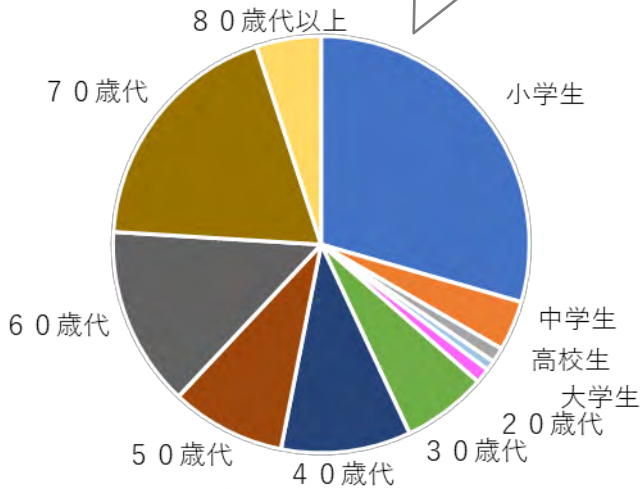
今日は誰と？
（258 件）

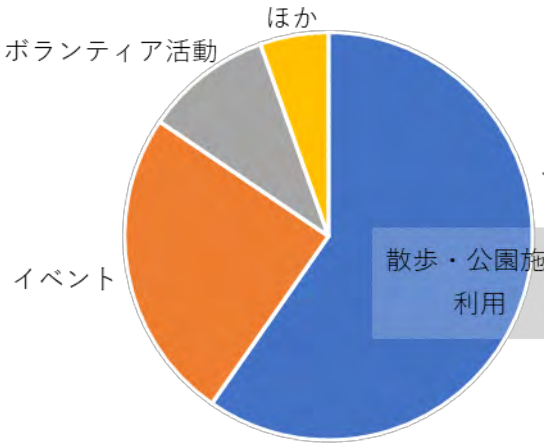


頻度は？
（258 件）



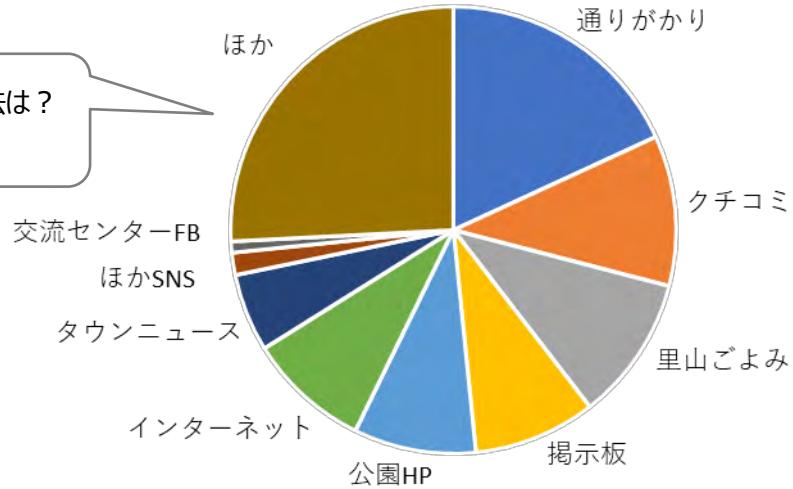
年代は？
（258 件）





何をしに？
（258 件）

情報の入手方法は？
（248 件）



■建物や外まわりのお手入れ状況について

建物内外の清潔さ　（243 件）

・大変良くお手入れされている。
・逆にキレイ過ぎてはじめての人は無料なのか迷うよ。

園内の植物の管理状態　（243 件）

・とても綺麗で1歳の子でも安心してお散歩できた。
・丁寧に管理されている。

安全性、安心感　（241 件）

・気がかりに思うようなことは特に感じない。
・居心地良く過ごせる。

■スタッフの接し方や掲示物について

スタッフの接し方　（232 件）

・あたたかい雰囲気でいやすかった。
・声を掛けられ過ぎないところがありがたい。

掲示物や案内板など　（235 件）

・使い方や憲章があって利用しやすい。
・図書や展示物があって良い。

■全体をとおしての総合満足度　（243 件）

・関係者の方々に感謝。また来たい。
・こんなところがあってうれしい。楽しい。
・駐車場を開けてほしい。

１２．研修実施報告（様式 13）

	実施日	研修名	参加者	内容及び効果
1	R3.4.04	定例:今年度の業務運営について	全員	今年度の業務について説明、昨年度との違いを知る。また、感染症対策を遂行し、業務を安全に行うために情報の共有を図った。
2	R3.4.07	個人情報の取り扱い研修	事務局スタッフ	個人情報保護法及びの取り扱いについて、イベント受付等に係るメンバーで実施。
3	R3.5.02	定例:市民の森のマナー啓発、森の利用ルール配布活動。谷戸田、市民の森を歩く。	全員	森への来訪者に市民の森の利用ルールを配布しマナー啓発おこなった。
4	R3.6.06	定例:ツチガエルの野生復帰計画について	全員	繁殖センターより、講師を招き、ツチガエルの現状と、野生復帰計画について学ぶ。
5	R3.6.22	プログラム運営研修	PJ 会員３名	公園のプロジェクトメンバーを対象にした、プログラム運営研修
6	R3.7.04	定例:定期点検に関する研修	全員	来訪者、利用者の視線に立って、公園の安心安全を考える。
7	R3.8.01	定例:公園視察レポート	全員	指定管理の公園を各々で訪れ、レポートを発表しあい、当公園との違い、参考になる点などを検討しあう。
8	R3.8.01	個人情報の取り扱い研修	事務局外ｽﾀｯﾌ	個人情報保護法及びの取り扱いについて、スタッフ全員を対象に実施。
9	R3.9.05	定例:緊急時対応訓練	全員	公園内で起こりうる緊急事態を想定し、訓練と対応策を検討し、情報の共有化をはかる。
10	R3.10.02	森林へのまなざし異分野共創シンポジウム	スタッフ３名	オンライン形式による研修。（国土緑化推進機構）
11	R3.10.03	定例:秋まつりに向けて全体会議	全員	秋まつり実施に向け、地域団体、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱとともに全体会議を実施
12	R3.11.10	プログラム運営研修	PJ 会員２名	公園のプロジェクトメンバーを対象にした、プログラム運営研修
13	R3.12.05	定例:救急救命及び初期消火訓練	全員	消防署長、地元消防団の指導の下、救急救命、初期消火訓練を行う
14	R4.1.09	定例:令和 3 年度事業の振り返り及び令和 4 年度事業計画	全員	令和３年度を振り返り、次年度に向けての計画を検討。
15	R4.2.06	定例:令和４年度のイベント計画、行動指針	全員	令和４年度のイベント計画を確認。今年度の行動指針を振り返る。 接遇のマナー振り返り。
16	R4.3.06	定例:公園エントランスの植栽管理	全員	エントランス、栗林、ハーブ畑の管理について検討。